



1

セーフコミュニティ認証の決定

日本で5番目、東京では初めての取得
認証式典は11月28日、東京芸術劇場で開催

(1-1) セーフコミュニティ国際認証の決定〔5月8日〕

● セーフコミュニティ認証都市

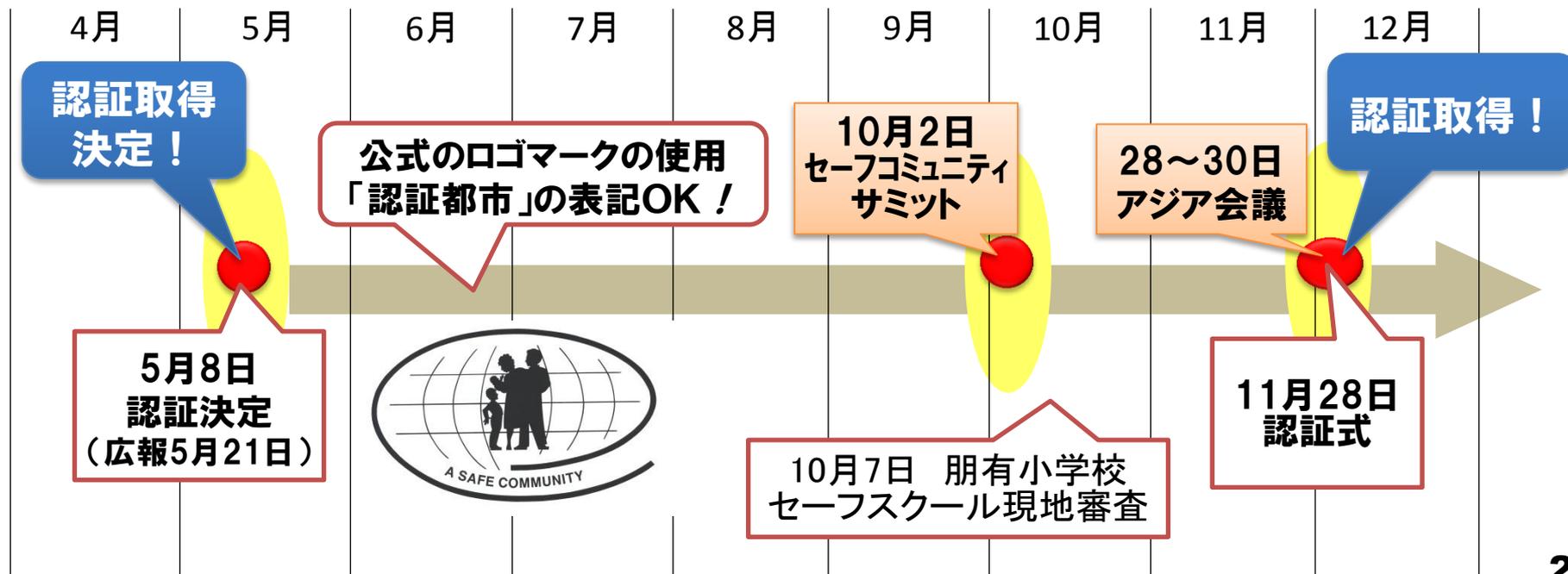
(4月当初時点) 世界**271**都市

● 豊島区の認証取得は、国内では 5 番目、東京では初めて

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 亀岡市 (2008年) | 4. 箕輪町 (2012年) |
| 2. 十和田市 (2009年) | 5. 豊島区 (2012年) |
| 3. 厚木市 (2010年) | 6. 小諸市 (2012年予定) |

● 国内の準備中都市

1. 横浜市栄区
2. 松原市
3. 久留米市
4. 北本市
5. 静岡市
6. 鹿児島市
7. 伊勢市



(1-2) 11月のアジア会議での発表を目標として活動

今年度 対策委員会の目標

豊島区の重点課題

一人暮らし高齢者の見守り

障害者の安全

子どものけが・事故予防

学校の安全(セーフスクール)

児童虐待の防止

ドメスティク・バイオレンス

自殺・うつ病の予防

がんの早期発見

自転車利用の安全

繁華街の安全

地震災害の防止

発表は2種類
①口頭発表(約15分)
②ポスター発表

11月28～30日
アジア地域
セーフコミュニティ会議
に参加・発表

口頭発表には
同時通訳あり
日本語でOK
(資料は要英訳)





2

(仮称) 『笑顔の絆』プロジェクト

区民(子ども)参加型の区制80周年記念事業
1,000人の“笑顔”とメッセージを未来へつなぐ

(2-1) [仮称] セーフコミュニティ “笑顔の絆” プロジェクト

1. 80周年を記念し、区民1,000人の笑顔と未来へのメッセージを募集する。
2. 1,000人の笑顔とメッセージの“**パネル**”を制作するとともに、そのうち200人の子どもたちの“**笑顔がさ**”を制作する。
3. “**パネル**”と“**かさ**”は、区民ひろば等、店舗、駅、大学、東京芸術劇場などに展示し、80周年をPRする。
4. 10月1日の記念式典、11月28日のSC認証式典等では、子どもたちによる、“**笑顔がさ**”を使ったパフォーマンスを企画する。
5. 6月から募集スタート、“**パネル**”は9月から順次展示、“**かさ**”は10月1日にデビュー。
6. 被災地支援として、石巻市の子どもたちへ“**かさ**”も贈り、双方のパフォーマンスの映像を交換して交流する。
7. 笑顔とメッセージ募集と「寄付」を連動させ、“**かさ**”の制作費に充てることも検討する。
8. “**笑顔がさ**”は、80周年事業で活用した後、記念として子どもたちにプレゼントする。



区民1,000人の 笑顔と未来へのメッセージ



パネル展示 約1,000人



区施設、
区民ひろば、
店舗、
駅通路、
大学等

笑顔がさ・パフォーマンス 約200本



笑顔がさは
子どもたちへ

10月1日
11月28日
イベントに
参加する
子どもたち

石巻市の
子どもたち
との交流

笑顔がさ等の経費

チャリ
ティー
寄付

区の
予算

冊子印刷
も検討



ネット、ホームページ



1,000人
笑顔+メッセージ
寄付者からの
メッセージ



3

セーフコミュニティ基金の設置

サステイナブルなセーフコミュニティ活動の基盤
区民主体の安全・安心活動の活性化に向けて

(3-1) 「セーフコミュニティ基金」の設置

1. 区制80周年を契機として、「安全・安心創造都市づくり」の展開を広くアピールするため、『セーフコミュニティ基金』を設置する。また、80周年事業の寄付活動の展開にあたっては、その受け皿とする。
2. 基金を原資として、区民主体の安全・安心活動を支援するための補助制度を創設する。
3. 寄付控除制度を活用し、寄付行為と政策メニューの選択を組み合わせ、新たなタイプの区民参加の仕組みをつくる。
4. 11月末の認証式典に合わせ、第4回区議会定例会への条例提案を目指す。

セーフコミュニティ活動のメニューを選択して寄付

高齢者の安全

障害者の安全

子どものけが・事故予防

学校の安全(セーフスクール)

児童虐待の防止

ドメスティック・バイオレンス

自殺・うつ病の予防

がんの早期発見

自転車利用の安全

繁華街の安全

地震災害の防止

